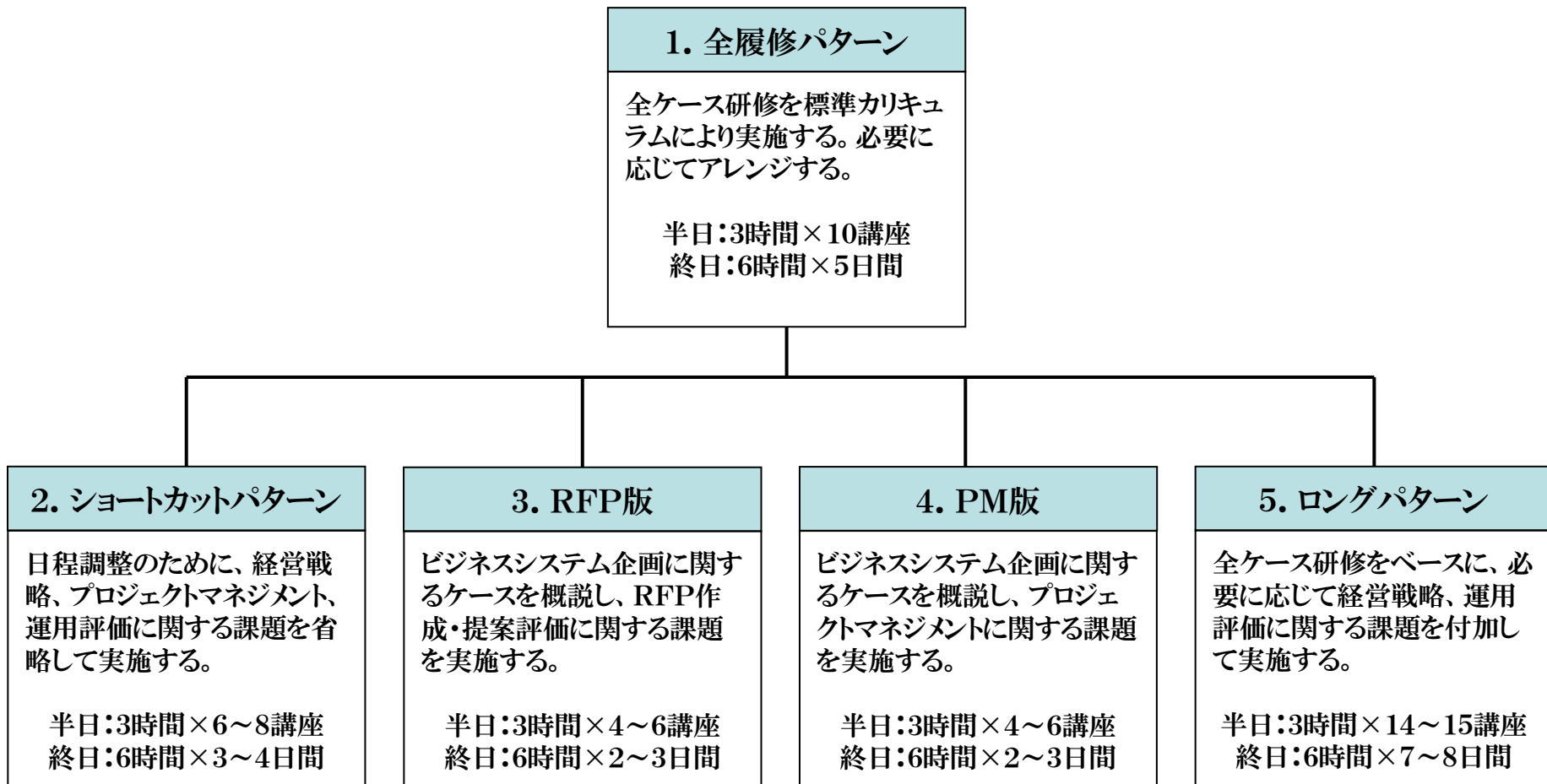


CIO育成研修・基本機能版 活用パターン

第1講座から第10講座までの各講座標準時間は2.5～3時間としている。
ケース教材を活用して以下のように工夫し、アレンジして実施できる。



1. 全履修パターン(標準内容)

【パターン】

第1講座から第10講座までをケース研修編通りに実施する。テキスト編の内容については、ケース研修の補足資料として取り扱う他は、原則として研修時には取り上げない。

【育成目的】

IT化企画書(または経営戦略企画書)を受けて、ITを活用したビジネスプロセスおよび新業務ルールを策定し、RFPの作成を経てITを導入し、ITの利活用・モニタリングできる人材を育成する。

【受講者像】

ITをビジネスに活用する責任者または経営者。ただし、経営者の場合は経営者研修(気付き版もしくは実践版)を受講済みであることが望ましい。

【開催時間・日数】

各講座時間の運営時間を3時間(夜間開催の場合は2.5時間程度)と設定する。
研修開催期間は、終日5日間、半日(または夜間)10日間とする。

【留意点】

受講者の目的、レベルを考慮し、ケース研修に必要なと思われる補助教材を付加したり、演習を説明課題に切り替えるなどの工夫をすること。

	9:30~12:30	13:30~16:30	備考
第1日目	【第1講座】 経営戦略策定	【第2講座】 IT化企画策定	
第2日目	【第3講座】 プロジェクトマネジメント	【第4講座】 現状ビジネスプロセスの把握	
第3日目	【第5講座】 ビジネス連携図・ビジネスルール	【第6講座】 機能構成表・プロセス関連図	
第4日目	【第7講座】 詳細業務フロー・業務ルール	【第8講座】 画面と帳票・運用操作要件	
第5日目	【第9講座】 RFP作成と提案評価	【第10講座】 セキュリティと効果測定	

2. ショートパターン(標準内容)

【パターン】

第1講座から第3講座までを概説し、IT化企画書およびIT化目標定義書を把握した上で、第4講座以降のケース研修編はないよう通りとした8講座分を実施する。テキスト編の内容については、原則として研修時には取り上げない。ビジネスシステム企画の修得までとする場合は6講座分としても良い。

【育成目的】

IT化企画書(または経営戦略企画書)を受けて、ITを活用したビジネスプロセスおよび新業務ルール of 策定など、ビジネスシステムの企画ができる人材を育成する。また、RFPの作成を経てITを導入し、ITの利活用・モニタリングできる人材を育成する。(標準バージョン同様)

【受講者像】

ITをビジネスに活用する責任者または経営者。ただし、経営者研修(気付き版もしくは実践版)を受講済みであることが望ましい。

【開催時間・日数】

各講座時間の運営時間を3時間(夜間開催の場合は2.5時間程度)と設定する。
研修開催期間は、終日4日間、半日(または夜間)8日間とする。ただし、ビジネスシステム企画を理解する部分までを研修目標とする場合は、終日3日間、半日(または夜間)6日間とする。

【留意点】

受講者の目的、レベルを考慮し、ケース研修に必要と思われる補助教材を付加したり、演習を説明課題に切り替えるなどの工夫をすること。

	9:30~12:30	13:30~16:30	備考
第1日目	【第1~3講座】 IT化企画策定・IT目標定義書	【第4講座】 現状ビジネスプロセスの把握	第1~3講座用の概説
第2日目	【第5講座】 ビジネス連携図・ビジネスルール	【第6講座】 機能構成表・プロセス関連図	
第3日目	【第7講座】 詳細業務フロー・業務ルール	【第8講座】 画面と帳票・運用操作要件	ビジネスシステム企画の修得の場合はここまで。
第4日目	【第9講座】 RFP作成と提案評価	【第10講座】 セキュリティと効果測定	

3. RFP版(ショートパターン)

【パターン】

CIO機能のうち「RFP作成」を主目的とし、第9講座「RFP作成と提案評価」にフォーカスする。RFPに記載する事項を判断するために第4講座から第8講座までを概説(必要に応じて演習としても良い)し、RFPを作成する。第9講座は、RFP作成で1~2講座分、提案評価で1講座分を実施する。テキスト編の内容については、必要に応じて取り上げても良い。

【育成目的】

ITを活用したビジネスシステムを実現するRFP作成できる人材を育成する。また、提案書を適切に評価する提案評価軸を作成できる人材を育成する。

【受講者像】

ITをビジネスに活用する責任者または経営者。

【開催時間・日数】

各講座時間の運営時間は3時間(夜間開催の場合は2.5時間程度)と設定する。

研修開催期間は、終日2~3日間、半日(または夜間)4~6日間とする。

【留意点】

第4~8講座を概説だけでなく、ケース研修を取り入れる場合は、2~3講義分確保しても良い。この場合、新ビジネス機能構成表、新ビジネスプロセス関連図、新詳細業務フロー、新業務ルールの流れを把握できる構成をとること。

第9講座・その1およびその2の2講座分を「具体的なRFPの作成」または「RFPの目次と説明会資料作成」とし、ベンダに何を伝えるべきかを理解させるように配慮すること。また、第9講座・その3は、提案評価軸を作成し、どの様に評価すべきかを理解させること。パッケージ導入を前提とした場合は、RFIを発行し、RFIの回答内容を理解した上でビジネスシステムを企画すると効率的なことを講義の中で解説すること。

	9:30~12:30	13:30~16:30	備考
第1日目	【第4~8講座】 ビジネスシステム企画・概説	【第9講座・その1】 RFP作成と提案評価	IT調達フェーズを学習 RFPを作成、テキスト第2部を利用
第2日目	【第9講座・その2】 RFP作成と提案評価	【第9講座・その3】 RFP作成と提案評価	IT調達フェーズを学習

4. PM版(ショートパターン)

【パターン】

CIO機能のうち「プロジェクトマネジメント」を主目的とし、第3講座「プロジェクトマネジメント」にフォーカスする。プロジェクトとして活動する第4講座から第8講座までを概説(必要に応じて演習としても良い)し、この間のプロジェクト計画表を作成する。第3講座は、プロジェクトマネジメントに関する概説で1講座分、プロジェクト計画作成で1講座分を実施する。

【育成目的】

ITを活用したビジネスシステムを実現するプロジェクトをマネジメントできる人材を育成する。

【受講者像】

ITをビジネスに活用する責任者または経営者。

【開催時間・日数】

各講座時間の運営時間は3時間(夜間開催の場合は2.5時間程度)と設定する。
研修開催期間は、終日2~3日間、半日(または夜間)4~6日間とする。

【留意点】

第3講座・その1は、プロジェクトマネジメントの概説を、ケース研修編で不足している部分をPMBOK等を利用して補足すること。第4~8講座の概説を行う場合は、IT化目標定義書を把握し、これに基づいて行う。また、概説だけでなく、ケース研修を取り入れる場合は、2~3講義分確保しても良い。この場合、ビジネス連携図、業務ルールを把握できる構成をとり、外部環境の把握を考慮すること。

第3講座・その2は、プロジェクト計画表の作成を行い、ビジネス機能構成表を参照しながらWBSを行うこと。同時に、それぞれのリスクを検討すること。

プロジェクト全体に関するリスクを検討する時間を確保すること。

	9:30~12:30	13:30~16:30	備考
第1日目	【第3講座・その1】 プロジェクトマネジメント・概説	【第4~8講座】 ビジネスシステム企画・概説	テキスト第1部を利用 PMBOKを利用
第2日目	【第3講座・その2】 プロジェクトマネジメント	【第3講座・その3】 プロジェクトマネジメント(リスク)	

5. ロングパターン

【パターン】

全履修パターンに、テキスト編の内容を活用し、経営戦略策定、IT化企画策定、IT導入、IT利活用を充実させる。

【育成目的】

経営戦略企画書・IT化企画書の策定から、ITを活用したビジネスプロセスおよび新業務ルール of 策定、RFPの作成と提案評価、ITの導入、ITの利活用・モニタリングを一貫してできる人材を育成する。

【受講者像】

IT活用を目指す経営者、またはビジネスにITを活用する責任者。

【開催期間】

研修開催期間は、終日7～8日間、半日(または夜間)14～15日間とする。

【留意点】

受講者の目的、レベルを考慮し、ケース研修に必要と思われる補助教材を付加すること。

	9:30～12:30	13:30～16:30	備考
第1日目	【第1講座・その1】 経営戦略策定	【第1講座・その2】 経営戦略策定	経営戦略の策定プロセスを学習 テキスト第1部・第2部を利用
第2日目	【第2講座・その1】 IT化企画策定	【第2講座・その2】 IT化企画策定	IT化企画の策定プロセスを学習 テキスト第1部・第2部を利用
第3日目	【第3講座】 プロジェクトマネジメント	【第4講座】 現状ビジネスプロセスの把握	
第4日目	【第5講座】 ビジネス連携図・ビジネスルール	【第6講座】 機能構成表・プロセス関連図	
第5日目	【第7講座】 詳細業務フロー・業務ルール	【第8講座】 画面と帳票・運用操作要件	
第6日目	【第9講座・その1】 RFP作成と提案評価	【第9講座・その2】 RFP作成と提案評価	IT調達フェーズを学習 RFPを作成、テキスト第2部を利用
第7日目	【第10講座・その1】 セキュリティと効果測定	【第10講座・その2】 セキュリティと効果測定	IT導入・運用評価をフェーズを学習 テキスト第2部を利用